

クリニカル・インディケータ－

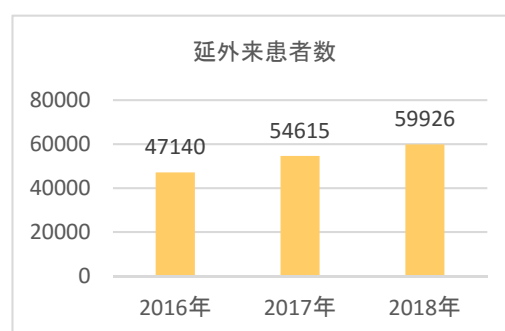
クリニカル・インディケータ－とは、医療の質を具体的な数値として示したもので、具体的な数値を把握することにより、医療の質を客観的に評価することが可能となります。クリニカル・インディケータ－としての指標値を把握し、改善に向けた努力を行うことで、患者さんに提供される医療の質が向上することを目指しています。

■延外来患者数

内容

1年間の延べ外来患者の数です。 [初診患者数＋再診患者数]

2016年	2017年	2018年
47140	54615	59926

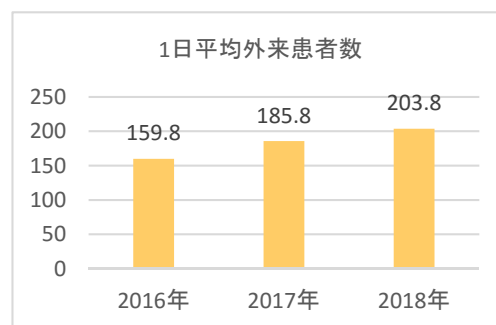


■1日平均外来患者数

内容

1日あたりの平均外来患者数です。 [延外来患者数÷診療日]

2016年	2017年	2018年
159.8	185.8	203.8

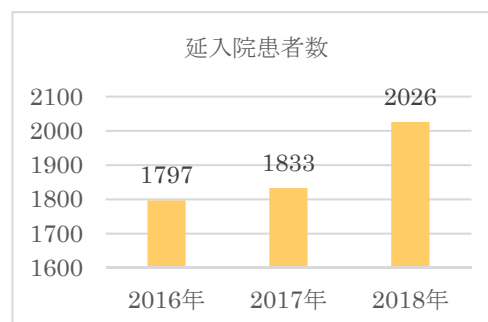


■延入院患者数

内容

1年間の延べ入院患者の数です。 [入院患者数＋当日未在院患者数]

2016年	2017年	2018年
1797	1833	2026



■主要疾患患者数

内容

主要疾患別患者数は、退院された患者の疾患を国際疾病分類に分類し、統計化したものです。当院がどのような医療を行っているのかを最も端的に表しており、地域医療に果たす役割を分析する指標となります。 [年間延退院患者数より]

【内科】

2016年		2017年		2018年	
肺炎	61	肺炎	39	肺炎	37
廃用症候群	48	廃用症候群	38	廃用症候群	24
脳梗塞後遺症	13	脳梗塞後遺症	12	脳梗塞後遺症	9

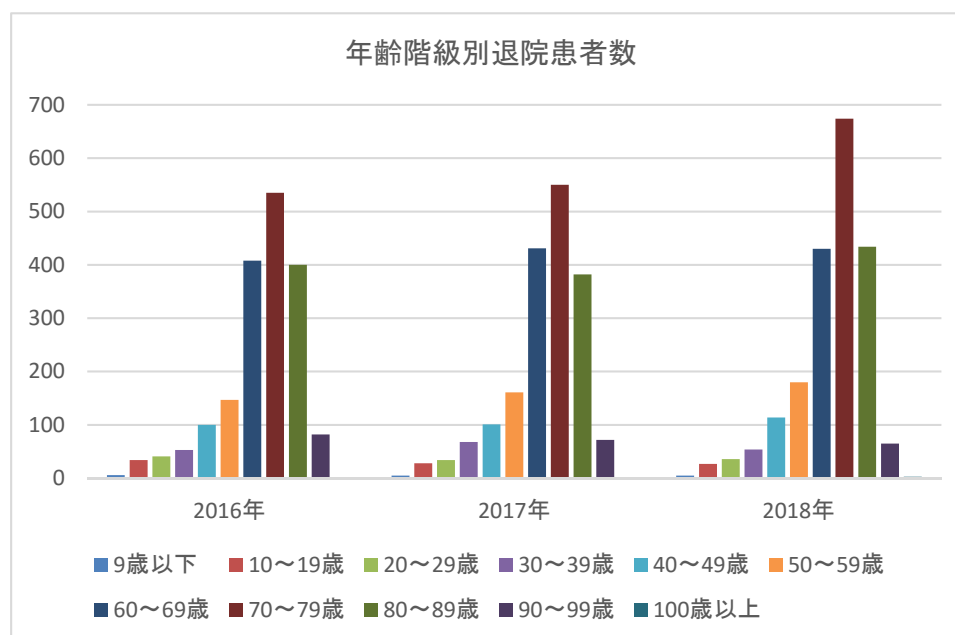
【整形外科】

2016年		2017年		2018年	
腰部脊柱管狭窄症	319	腰部脊柱管狭窄症	328	腰部脊柱管狭窄症	400
腰椎椎間板ヘルニア	171	変形性膝関節症	171	腰椎椎間板ヘルニア	191
変形性膝関節症	154	腰椎椎間板ヘルニア	166	変形性膝関節症	179
腰椎すべり症	113	変形性股関節症	95	変形性股関節症	123
変形性股関節症	82	腰椎すべり症	82	腰椎すべり症	95
腰椎圧迫骨折	72	腰椎圧迫骨折	74	腰椎圧迫骨折	90

■年齢階級別退院患者数

内容

年齢階級別の退院患者数です。

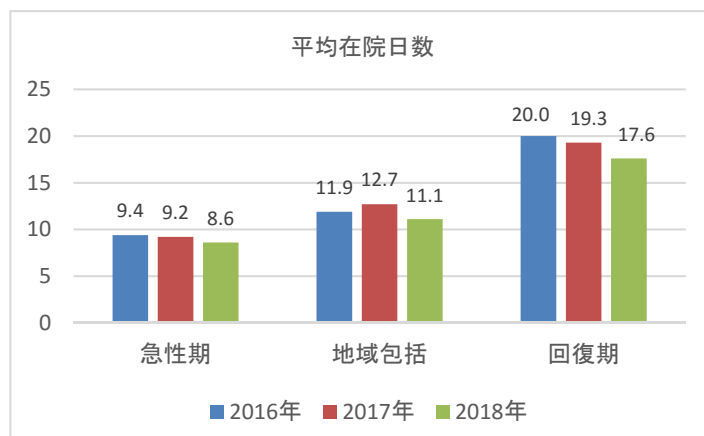


■病棟別平均在院日数

内容

1人の患者さんが平均何日間入院しているのかを示す指標です。病院の機能や患者の重症度などにより在院日数は変動するものであり、医療管理上のみならず病院経営の面からも重要な指標となっています。 [在院患者数 ÷ (新入院患者数 + 退院患者数) ÷ 2]

	2016年	2017年	2018年
急性期	9.4	9.2	8.6
地域包括	11.9	12.7	11.1
回復期	20.0	19.3	17.6



■疾患別平均在院日数

内容

主要疾患別の平均在院日数です。

【内科】

2016年		2017年		2018年	
肺炎	14.8	肺炎	15.7	肺炎	15.3
廃用症候群	32.2	廃用症候群	28.6	廃用症候群	19.0
脳梗塞後遺症	42.0	脳梗塞後遺症	38.9	脳梗塞後遺症	45.1

【整形外科】

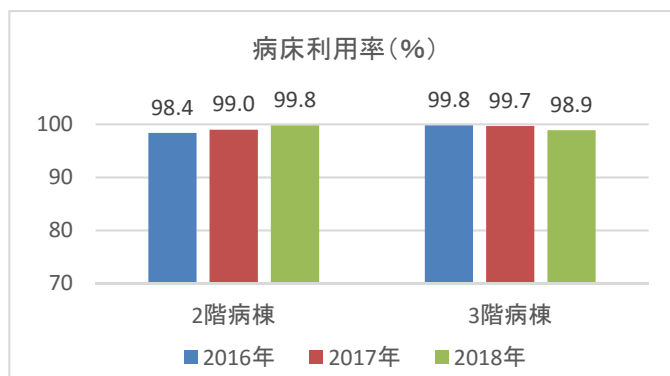
2016年		2017年		2018年	
腰部脊柱管狭窄症	11.2	腰部脊柱管狭窄症	11.1	腰部脊柱管狭窄症	8.7
腰椎椎間板ヘルニア	8.2	腰椎椎間板ヘルニア	11.3	腰椎椎間板ヘルニア	8.7
腰椎すべり症	13.8	腰椎すべり症	12.6	腰椎すべり症	9.8
変形性膝関節症	25.3	変形性膝関節症	25.2	変形性膝関節症	22.1
変形性股関節症	25.2	変形性股関節症	24.3	変形性股関節症	20.6
腰椎圧迫骨折	19.3	腰椎圧迫骨折	16.8	腰椎圧迫骨折	16.5

■病床利用率

内容

運用病床数に対し、入院患者がどの位の割合で入院していたかを示す指標です。病床の稼働状況が分かります。[延入院患者数÷延運用病床数]

	2016年	2017年	2018年
2階病棟	98.4	99.0	99.8
3階病棟	99.8	99.7	98.9

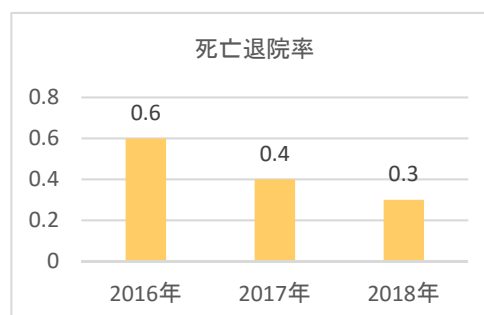


■死亡退院率

内容

当院で退院された患者さんのうち、死亡退院された方の割合です。地域の特性や役割、機能、ベッド数、重症度などにより死亡退院率は変わってきます。[年間患者死亡数÷年間延入院患者数]

2016年	2017年	2018年
0.6	0.4	0.3



■剖検率

内容

当院で死亡された患者さんの中で、病理解剖がなされた割合です。病理解剖のことを剖検ともいいます。[年間剖検数÷年間患者死亡数]

2016年	2017年	2018年
0	0	0

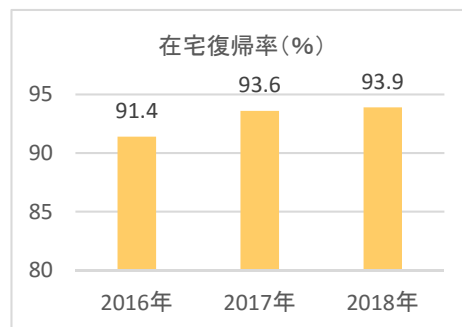
■在宅復帰率

内容

当院で退院された患者さんの中で、自宅へ退院された方の割合です。様々な疾病で入院された患者さんが住み慣れた環境での生活に復帰できるように努めています。

[自宅へ退院された患者数÷年間延入院患者数]

2016年	2017年	2018年
91.4	93.6	93.9



■クリニカルパス実施件数

内容

入院から退院までの治療や処置、検査、看護などのスケジュールを時系列に示したクリニカルパスの実施件数と、適用率です。均質で無駄のない医療の提供に努めています。

[パス適用件数÷退院患者数]

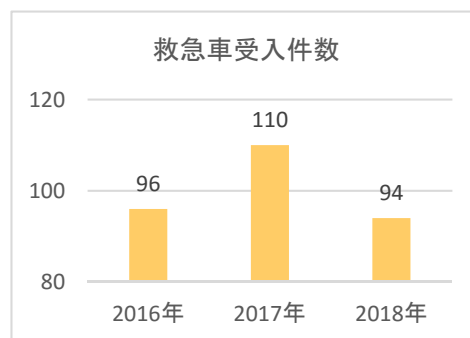
2018年		
退院	適用件数	使用率
2024	1351	66.78

■救急搬送受入件数

内容

当院で救急車の受け入れを行った件数を示したものです。患者さんの疾病や状態によっては受け入れが難しい場合もありますが、当院では要請のあった患者さんについて積極的に受け入れを行うよう努めています。

2016年	2017年	2018年
96	110	94

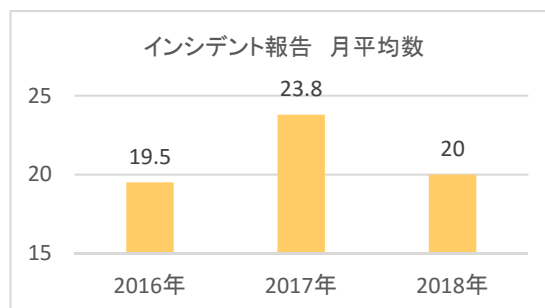


■インシデント報告月平均

内容

当院における、年間インシデント発生報告件数の月平均数です。安全な医療提供のためには院内で発生したインシデント・アクシデントを把握し、発生における分析や対策を立てることは非常に重要です。[年間インシデント発生報告件数÷12]

2016年	2017年	2018年
19.5	23.8	20

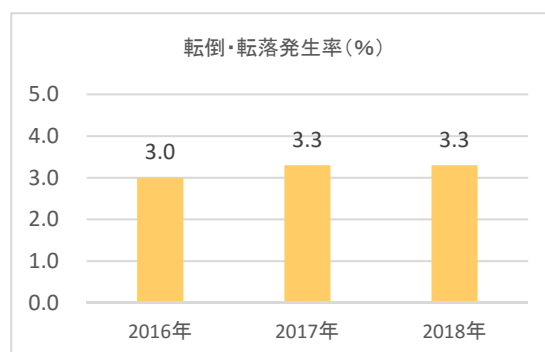


■入院患者の転倒・転落発生率

内容

入院患者における転倒・転落の発生率です。入院という環境の変化や罹患した疾患においてベッドから転倒・転落される事があります。転倒・転落の原因や要因について分析を行い、予防策を講じて転倒・転落を防ぎます。次に、万一転倒・転落がおきても外傷が比較的軽くて済むように工夫する事が必要です。 [転倒・転落件数÷年間延退院患者数]

2016年	2017年	2018年
3.0	3.3	3.3



■入院患者の転倒・転落による損傷発生率（損傷レベル2以上*）

内容

入院患者における転倒・転落件数のうち、損傷レベル2以上の転倒・転落割合です。
[損傷レベル2以上の転倒・転落件数÷年間延退院患者数]

損傷レベル2以上(%)		
2016年	2017年	2018年
0.2	0.3	0.8

*レベル2「軽度」：包帯、氷、創傷洗浄、四肢の挙上、局所薬が必要となった、あざ、擦り傷を招いた。

*レベル3「中軽度」：縫合、ステリー・皮膚接着剤、副子が必要となった、または筋肉・関節の捻傷を招いた。

■入院患者の転倒・転落による損傷発生率（損傷レベル 4 以上*）

内容

入院患者における転倒・転落件数のうち、損傷レベル 4 以上の転倒・転落割合です。

[損傷レベル 4 以上の転倒・転落件数 ÷ 年間延退院患者数]

損傷レベル 4 以上 (%)		
2016 年	2017 年	2018 年
0	0	0.2

*レベル 4「重症」：手術、ギプス、牽引、骨折を招いた・必要となった、または神経損傷・身体内部の損傷ため診察が必要となった。 *レベル 5「死亡」：転倒による損傷の結果、患者が死亡した。

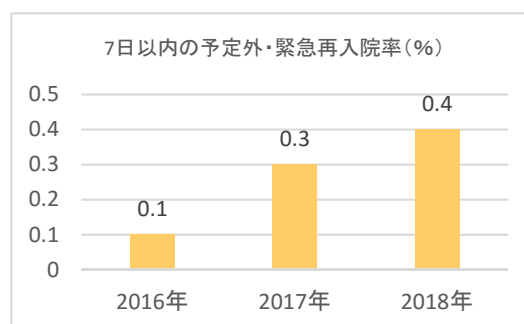
■退院後 7 日以内の予定外・緊急再入院割合

内容

退院患者のうち、前回退院から 7 日以内に同一傷病名又は随伴症、合併症、併存症で予定外又は緊急入院した患者の割合です。（※他疾患による入院を除く）この指標を用いて、入院時の治療が適切であったかを再評価します。再入院率が低いことは、初回の治療が適切に行われていると考えられます。

[前回退院から 7 日以内に同一傷病名又は随伴症、合併症、併存症で予定外又は緊急入院した患者数 ÷ 年間延退院患者数]

2016 年	2017 年	2018 年
0.1	0.3	0.4



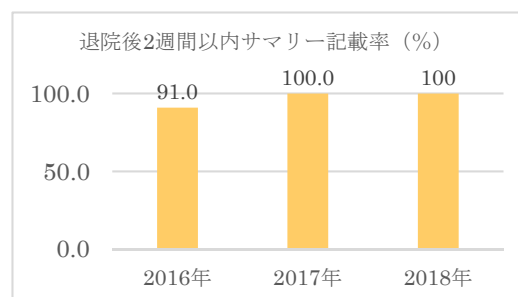
■退院後 2 週間以内の退院時サマリー記載割合

内容

退院後、2 週間以内に退院時サマリリーの作成がなされたかの割合です。退院後速やかに完成する事は、退院後の外来等の診療を円滑に行う為にも重要です。

[14 日以内に完成したサマリー ÷ 年間延退院患者数]

2016 年	2017 年	2018 年
91.0	100	100



■術式別手術件数（手術室実績）

内容

延退院患者のうち、手術を行った件数です。施行が多い手術をピックアップしています。

	2016年	2017年	2018年
椎弓切除術	115	130	159
内視鏡下椎間板摘出術	60	56	58
椎間板摘出術	33	35	51
脊椎固定術（後方）	63	76	82
椎弓形成術	13	25	28
人工関節置換術（膝）	180	231	240
人工関節置換術（股）	76	100	118
関節鏡下肩腱板断裂手術	18	29	32
関節鏡下半月板切除術	28	37	20
人工骨頭挿入術（大腿）	22	30	24
骨折観血的手術（大腿）	38	41	37
骨折観血的手術（前腕）	33	36	39

内視鏡施行件数

内容

当院において、胃カメラ・大腸カメラ等の内視鏡検査を実施した件数です。

	2017年	2018年
胃カメラ	258	230
大腸カメラ	87	74